

こんご せさく かだい せいり
今後の施策につなげる課題の整理1 だいひつ だいどくしえん かた
代筆・代読支援のあり方

ぜんかい きょうぎかい なか じょうれい しゅだん めいき だいひつ だいどく
前回の協議会の中で、「条例にもコミュニケーション手段として明記されている代筆・代読
かん しえん と く いけん あさおいいん
に関する支援に取り組んでほしい」という意見あり（浅生委員）

- しやくしよ かんけいしせつ だいひつ だいどくしえん
・市役所や関係施設における代筆・代読支援

ひつだんたいおう あ か じょうほうきょうゆう はか
筆談対応などと合わせてルール化し、情報共有を図る。

- しやくしよいがい だいひつ だいどくしえん
・市役所以外での代筆・代読支援

どうこうえんご しえん げんじつてき こじんはんだん ゆだ
同行援護のガイドヘルパーなどに支援してもらうのが現実的。ただし個人判断に委ねるの
ではなく、じぎょうしよ かんりしや もう い うえ けんしゅう きかい かくほ いけんこうかん
事業所の管理者などにも申し入れをした上で、研修の機会を確保し、意見交換な
どもかさ うんよう ほうこう けんとう
ども重ねながら運用していく方向で検討する。

- しかくしよがいしやいがい しょうがいしや だいひつ だいどくしえん
・視覚障害者以外の障害者への代筆・代読支援

じょうれいけんとうだんかい ぜんかい きょうぎかい なか ちてきしよがいしや ほんたつしよがいしや せいしんしよがいしや かん
条例検討段階や前回の協議会の中でも、知的障害者や発達障害者、精神障害者に関し
てもコミュニケーション支援の方法が確立されていないという意見があった。実際に代筆が
ひつよう ぼめん ししよくいん しえん けんとう
必要な場面もある。市職員による支援やガイドヘルパーによる支援については、合わせて
けんとう ひつよう
検討する必要がある。

2 コミュニケーションボードの検討

こんかい ごうりてきはりよ ていきょうしえん かん じよせいせいど
今回の合理的配慮の提供支援に関する助成制度にもあがっている「コミュニケーション
ボード」について、あかしし つか しさくぼん さくせい けんとう
明石市で使っていける試作版の作成を検討したい。

- じよせいせいど はい けんとう じゅうぶん
・助成制度のメニューにも入っているが、コミュニケーションボードについて十分に

し しやくしよ まどぐち かんけいしせつ つか さくせい
知られていないところがある。市役所の窓口や関係施設などで使えるものを作成し、

民間施設などにも広げていくきっかけとしたい。

- 教育機関や医療機関でも利用している場面は非常に少なく、知的障害者だけでなく、聴覚障害者や高齢者、子どもも対象と考えられるため、幅広いコミュニケーション支援という理解を含め、広く知ってもらえるよう啓発していく必要がある。